

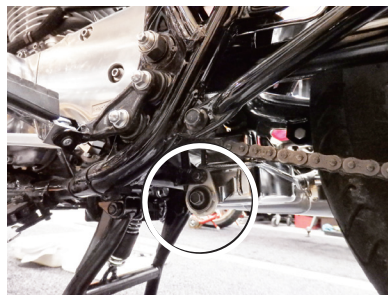


< 商品内容 >

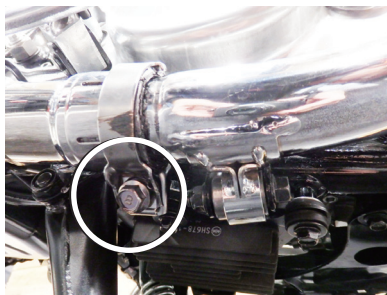
① POWER BOX パイプ ×1

- ※ 説明書内の写真は試作品の為、実際の製品とはパイプの形状等、一部異なる場合があります。(本説明書では主にFI仕様車の車体を使って作成されています。)
- ※ 作業は平坦な場所でセンタースタンドを立てて車体を安定させ、エンジン、マフラーが完全に冷えた状態で行なって下さい。
- ※ 本製品にはエキゾーストガスケットは付属しておりません。取り付け後の排気漏れを防ぐ為にも車種専用の物をご購入の上、新品に交換して下さい。
- ※ ボルト類の組み付け時には、緩み防止の為に“ネジロック剤”を塗布の上、締め付ける様にして下さい。
- ※ キズ付き防止の為に、マフラー取り付け部廻りの塗装部分にはあらかじめガムテープ等を貼って養生しておく事をお勧めします。

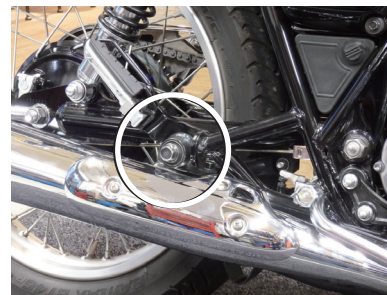
① 純正マフラー・一式を取り外します。(サイレンサー → エキゾーストパイプの順に取り外します)



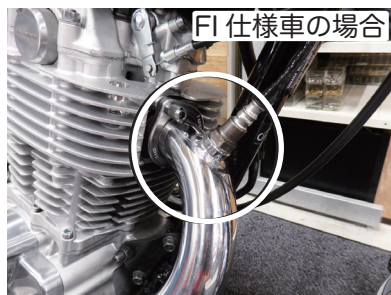
車体左側(ドライブチェーン側)のサイレンサーボディ固定箇所
のボルトを抜き取ります。



エキゾーストパイプとの接合部のバンドをボルトが外れる直前あたりまで緩めておきます。



サイレンサー上・固定部のボルト類を取り外します。サイレンサーボディを上下左右に小刻みに揺る様にしてエキゾーストパイプからゆっくりと抜き取ります。

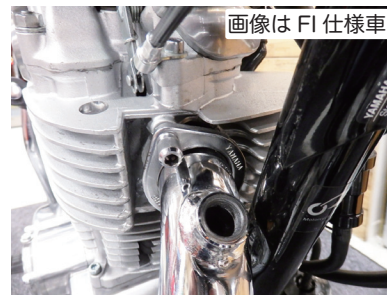


FI仕様車の場合

FI仕様車では排気ガスセンサーを取り外します。配線が断線しない様に注意しながらエキゾーストパイプから取り外します。(排気ガスセンサーは後で再び取り付けます。)



エキゾーストパイプのエンジン下固定箇所を取り外します。ボルト、カラー類は後で再使用しますので無くさないようにして下さい。



画像は FI仕様車

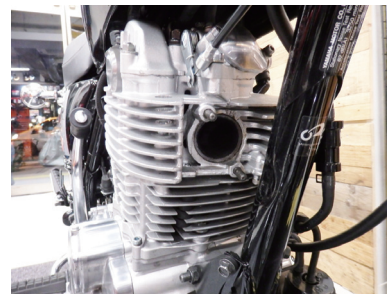
エンジン側固定部のナット・2箇所を取り外し、エキゾーストパイプを車体から取り外します。(ナットは後で再使用します。)

② POWER BOX パイプ を仮組みします。 ※ エキゾースト・ガスケットは専用品を別途お買い求めください。



カラー

純正エキゾーストパイプに使用していたカラーを再使用します。**POWER BOX** パイプ に移植しておきます。(特に向きはありません。)



エンジン接合部のエキゾースト・ガスケット(別途お買い求めください)を新品に交換した後**POWER BOX** パイプ を仮組みします。フランジの固定には純正のナットを再使用します。

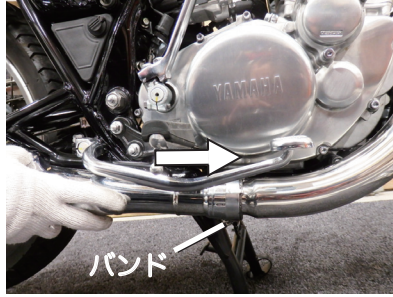


エンジン下固定箇所は純正マフラーの固定方法と同じ様にして仮止めます。ボルト類は純正を再使用します。※取り付け時にカラーが脱落しないように注意して下さい。

③ サイレンサーボディー を仮組みします。



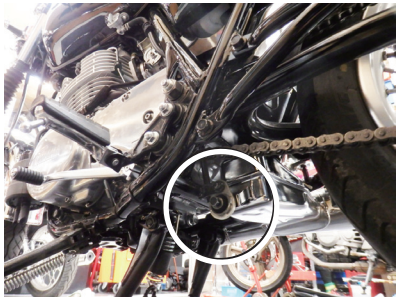
サイレンサーのジョイントガスケットは再使用します。
著しく傷んでいる場合には交換します。
車種専用の物をお買い求め下さい。



サイレンサーボディーを
POWER BOXパイプ に組み込み、
バンドをある程度締め込んでおきます。



サイレンサー上部を仮止めします。
取り付けのボルト類は純正サイレンサーに
使用していたものを再使用します。



車体左側(ドライブチェーン側)の
サイレンサーボディー固定箇所を仮止めします。
取り付けのボルト類は純正サイレンサーに
使用していたものを再使用します。



FI仕様車の場合には、排気ガスセンサーを取り付けます。
配線が断線しない様に注意しながら
優しく丁寧に固定します。



FI仕様車はご注意ください！

マフラー交換時に排気ガスセンサーを取り外したままの状態
でメインスイッチをONにしますと、センサー部に異常があると
判断してメーターの警告灯が点灯してしまいます。
一度点灯した警告灯は簡単に解除できません。
必ずマフラー装着を全て完了した後にエンジンを
始動する様にして下さい。
万が一警告灯を点灯させてしまった場合には専用の機材による
点検、解除が必要です。
車輛ご購入先のバイクショップに相談して下さい。

④ 各部のクリアランス、取り付け状態を確認し、各部本締めを行ないます。

念の為、センタースタンドの動作確認も行なって下さい。

⑤ 仕上げ

マフラー全体をきれいに拭き上げます。

本締めを終えたら、パイプに付着した汚れや油分をパーツクリーナーなどの脱脂剤でしっかりと拭き取ります。
汚れや油分がマフラーに付いた状態でエンジンをかけて熱が加わりますと後で落とすのが困難になりますので
ご注意下さい。

⑥ エンジン始動後、排気漏れがなく、装着状態に問題の無い事が確認できましたら作業終了となります。

- ※ マフラー装着完了後も、取り付け状態やボルトの緩みのチェックは定期的に行なって下さい。
特にSRの単気筒エンジンは振動が多く、ボルト類の緩みが起き易いので定期的な増し締めをおすすめします。
- ※ 装着直後は、しばらくの間マフラー内部に残った油分により、排気出口からも白煙や臭いが発生する場合がありますが、
数日で解消されます。
- ※ 製品によっては、マフラー本体に小さな穴を空けている事があります。これは水抜き用に設けられた穴ですので、
特に問題はございません。

上記内容も合わせて良くご理解いただいた上でご使用下さい。